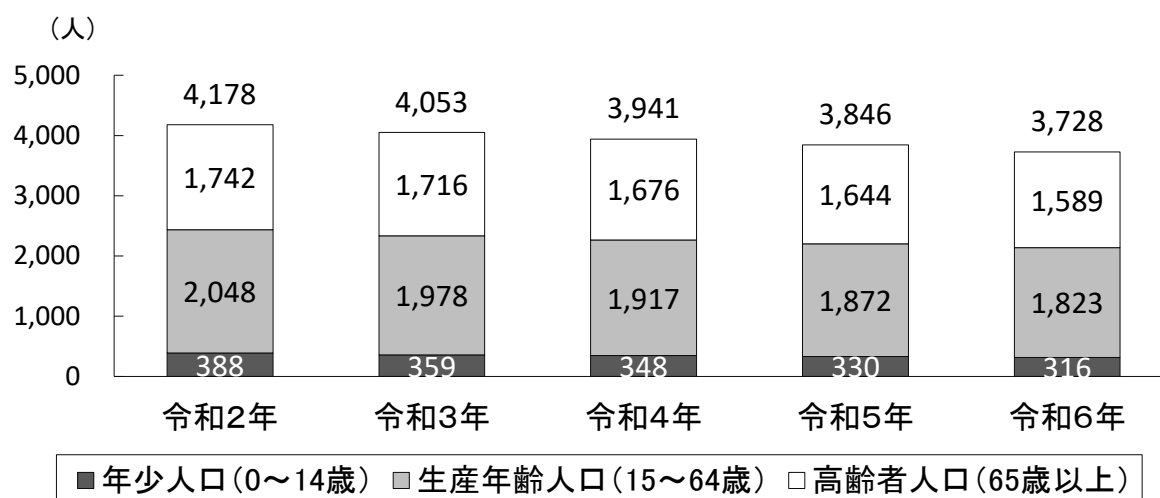


第2章 美深町の現状

Ⅰ 美深町の人口と世帯

(1) 年齢3区分別の人口推移

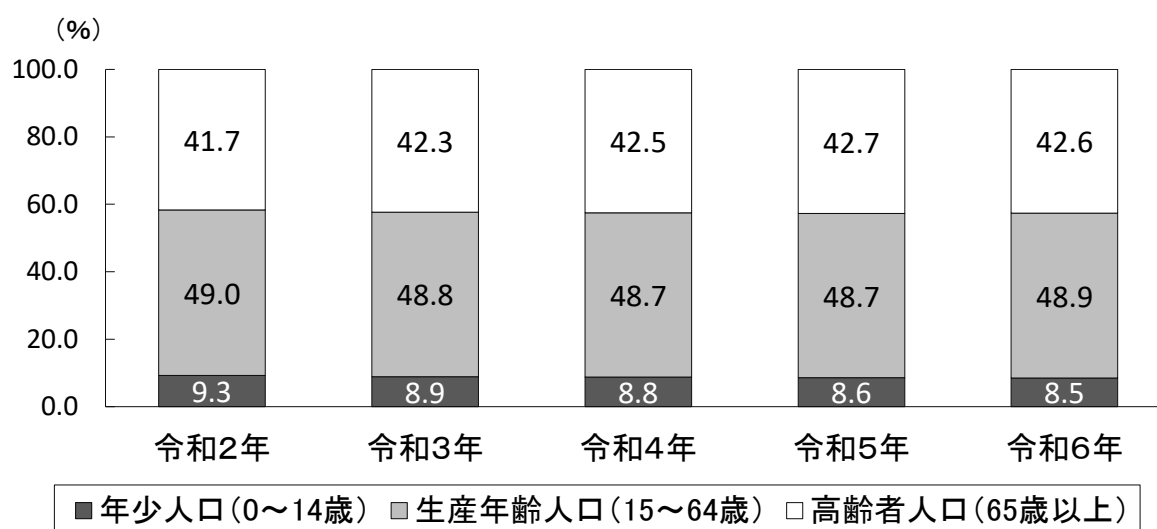
美深町の総人口は減少傾向にあり、年齢3区分別人口の推移も全て減少傾向にあります。



資料：住民基本台帳 各年4月1日現在

(2) 年齢3区分別人口比率の推移

年齢階層別人口比率の推移をみると、年少人口比率は減少傾向にあり、高齢者人口比率は増加傾向にあります。

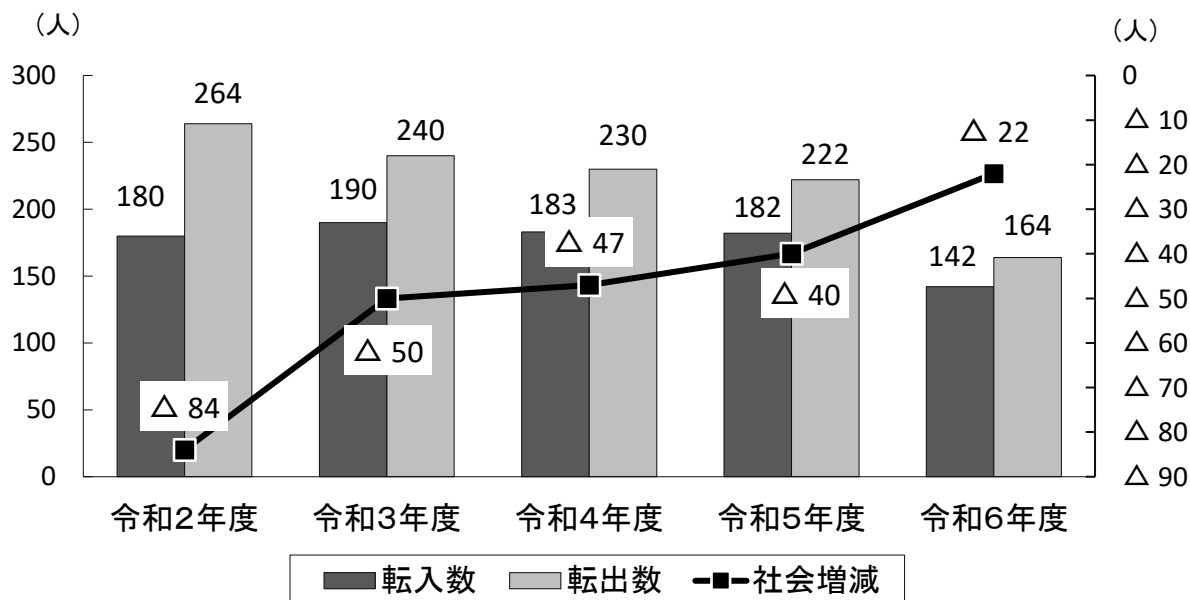


資料：住民基本台帳 各年4月1日現在

(3) 社会動態

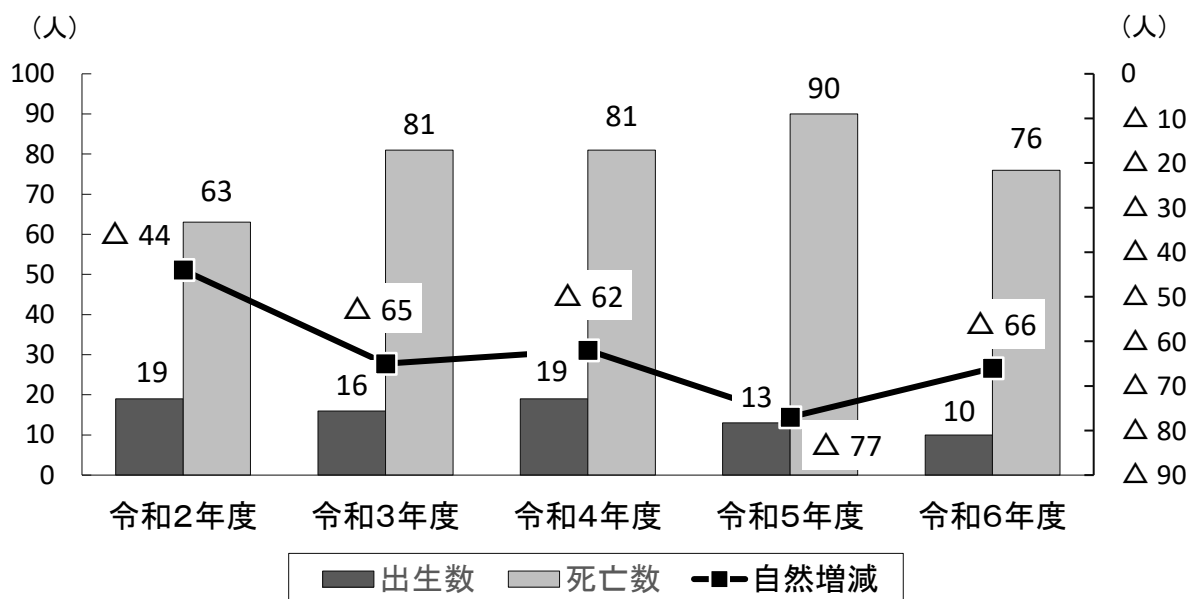
転入数、転出数共に、増減を繰り返しながら推移しています。

社会増減は、転出が転入を上回っています。



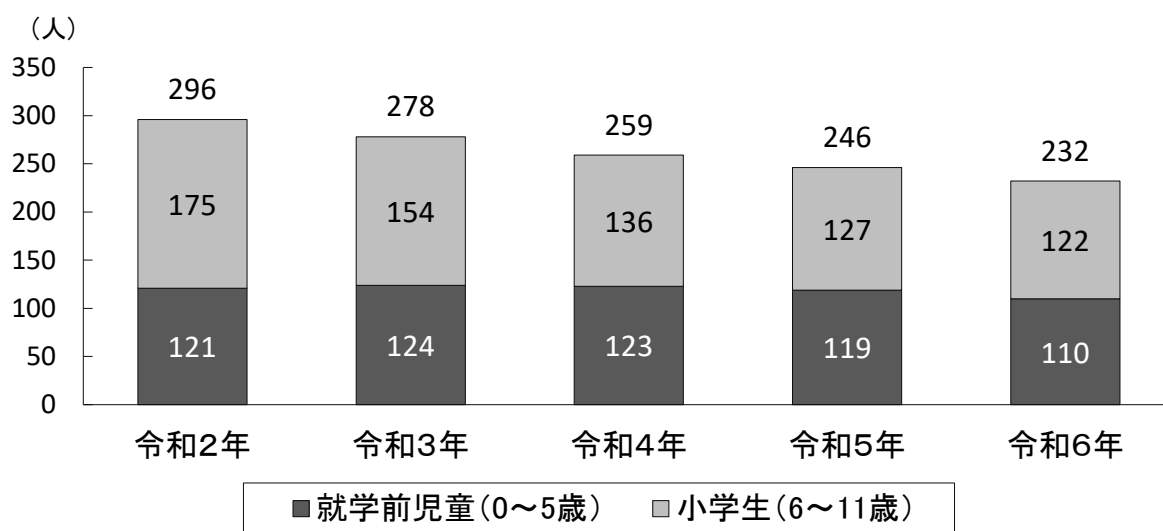
(4) 自然動態

出生数は減少傾向にあり、死亡数は増加傾向にあります。自然増減は、死亡数が出生数を大きく上回っています。



(5) 子どもの人口推移

就学前児童数（0～5 歳）、小学生数（6～11 歳）は、ともに減少傾向にあります。



資料：住民基本台帳 各年4月1日現在

2 ニーズ調査結果

(1) 概 要

ア 調査の目的

本調査は、令和7～11年度の「第3期美深町こども・子育て支援事業計画」を策定するに当たって、対象となる子どものいる家庭を対象に、子ども・子育て支援事業に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」など保護者の意向を把握し、計画に反映させることを目的に実施しました。

イ 調査対象及び調査方法

調査対象	●就学前児童 : 88世帯 ●小学生 : 96世帯
調査期間	令和6年12月
回収票数	●就学前児童 : 41票 ●小学生 : 44票
回収率	●就学前児童 : 46.6% (41/88) ●小学生 : 45.8% (44/96)

ウ 留意事項

- ① 設問には回答選択肢から1つのみ答える単数回答(SA:シングルアンサー)と、複数回答(MA:マルチアンサー)があります。
- ② グラフ中の「n」については、回答割合を算出する際の分母(全体の回答数もしくは回答者数)となる数値です。
- ③ 回答割合は選択肢ごとに小数第二位を四捨五入しているため、表によってはその割合の合計が100.0%にならないものがあります。
- ④ 設問については、内容を損なわない範囲内で、要約して表記しています。
- ⑤ 回答の対象者が限定される限定設問については、全体の回答(者)数よりも「n」(分母)が小さくなります。
- ⑥ 回答の選択肢として「その他」を選択した人の具体的記述については、主な意見を掲載しています。

(2) 主な調査結果

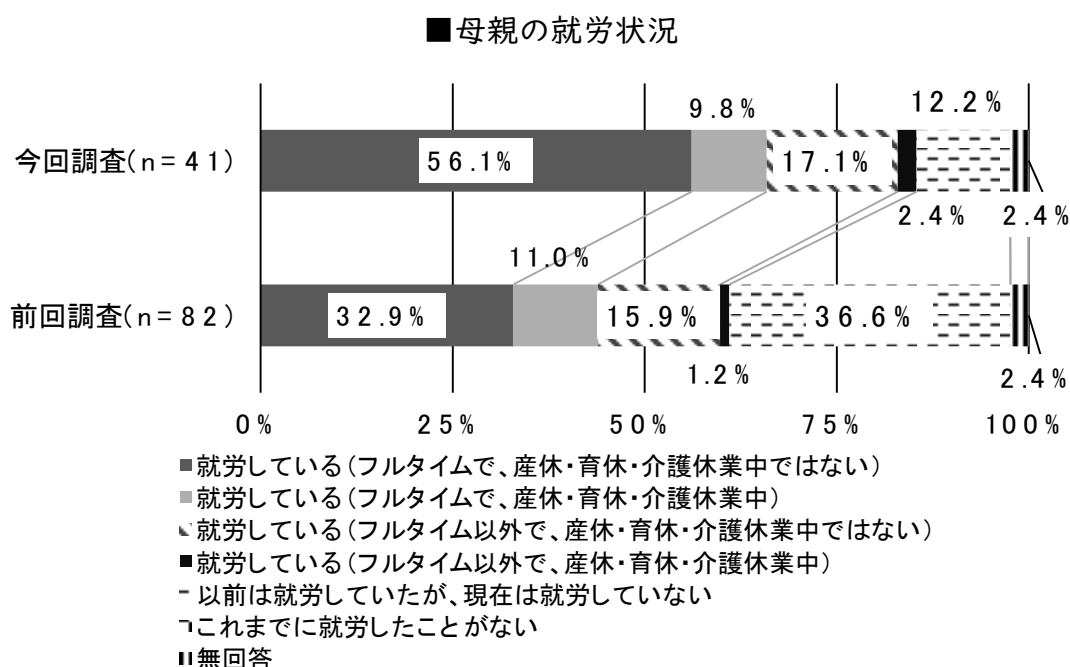
ア 就学前児童

(ア) 保護者の就労状況

① 母親の就労状況 (SA)

フルタイムで就労している母親(産休・育休・介護休業中を除く)が56.1%と、前回の32.9%から増加していることが分かります。

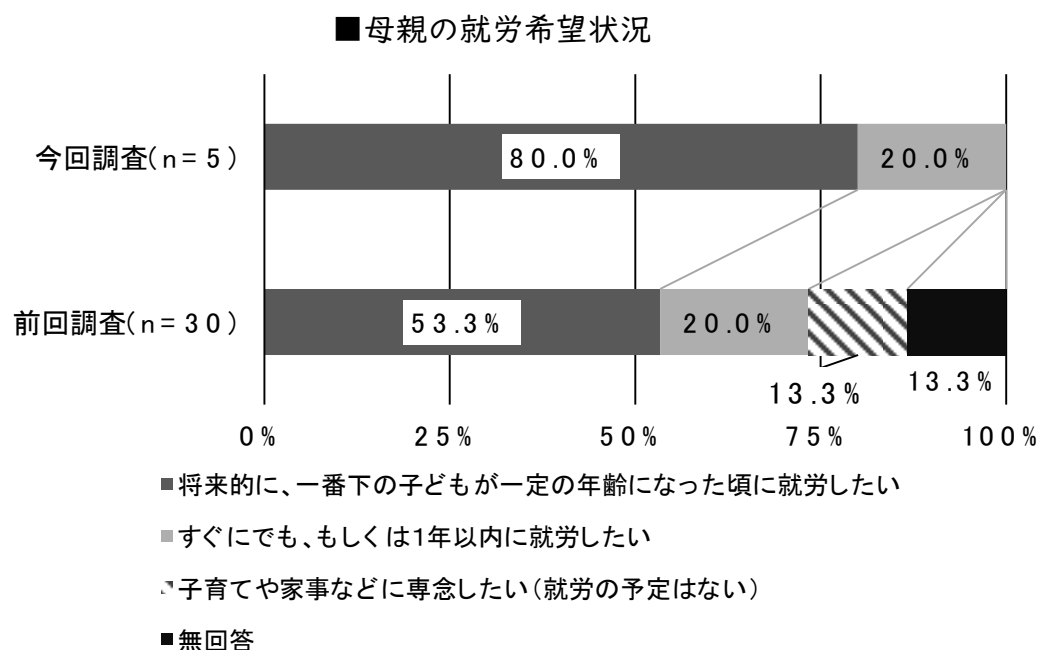
また、以前は就労していましたが現在は就労していない母親の割合が36.6%から12.2%へと大幅に減少しており、仕事をしている母親が増えていることが分かります。



② 現在、就労していない母親の就労希望 (SA)

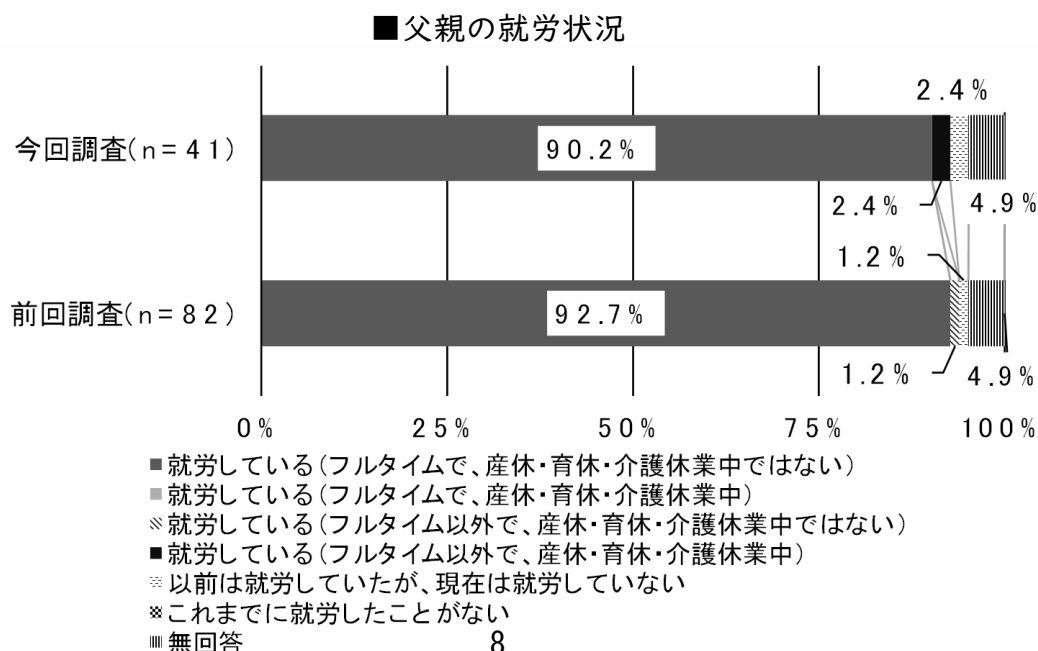
現在働いていない母親のうち「将来的に、一番下の子どもが一定の年齢になった頃に就労したい」と答えた割合が 53.3%から 80.0%へ大幅に増加しています。

また、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」と答えた母親の割合が 13.3%から 0.0%へ減少しており、回答者全員が就労意欲を持っていることが分かります。



③ 父親の就労状況 (SA)

父親の就労状況について、今回調査では「フルタイムで、産休・育休・介護休業中ではない」という就労形態が 90.2%と前回調査の 92.7%から 2.5 ポイント減少しました。依然として、フルタイムの形態で仕事をしている父親が高い割合となっています。

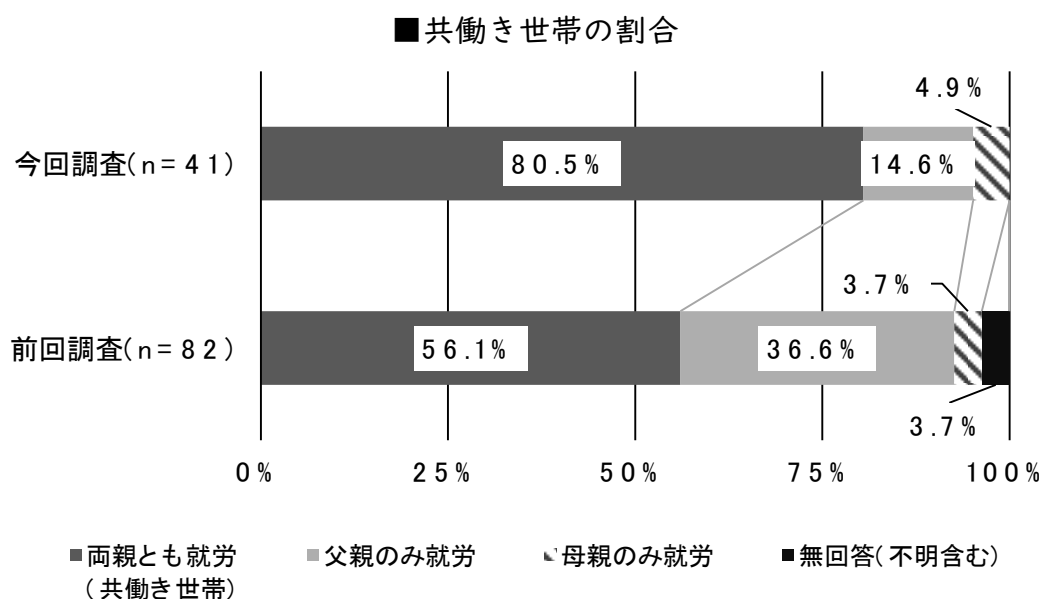


④ 共働き世帯の状況（クロス集計）

今回調査の結果では、「両親とも就労（共働き世帯）」の割合が56.1%から80.5%へ大幅に増加し、共働きの割合が増加していることが分かります。

一方、「父親のみ就労」の割合は36.6%から14.6%へと減少しました。

「母親のみ就労」の割合はわずかに増加しており、家庭の事情により母親が主要な働き手となる家庭も存在しています。

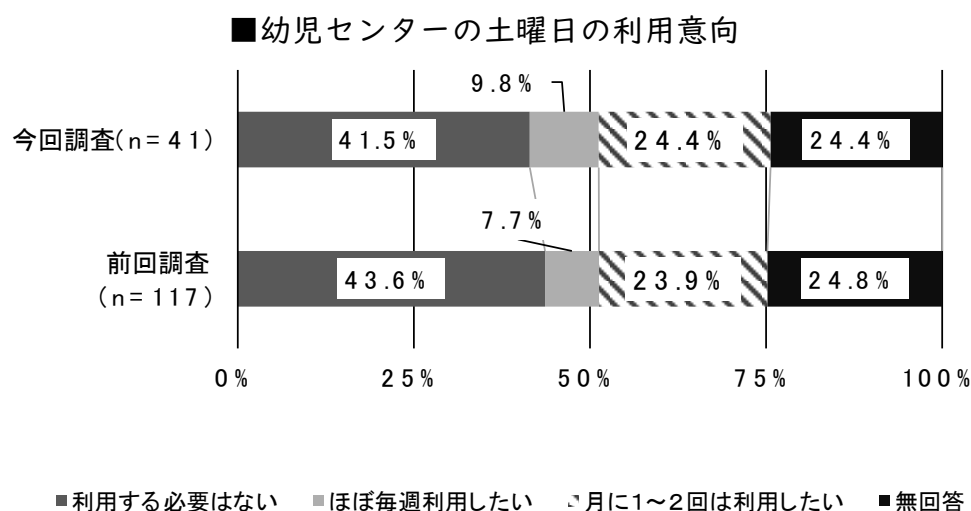


(イ) 幼児センターの利用について

① 土曜日の幼児センターの利用意向 (SA)

土曜日に幼児センターを「利用する必要はない」と答えた割合が43.6%から41.5%に2.1ポイント減少しています。

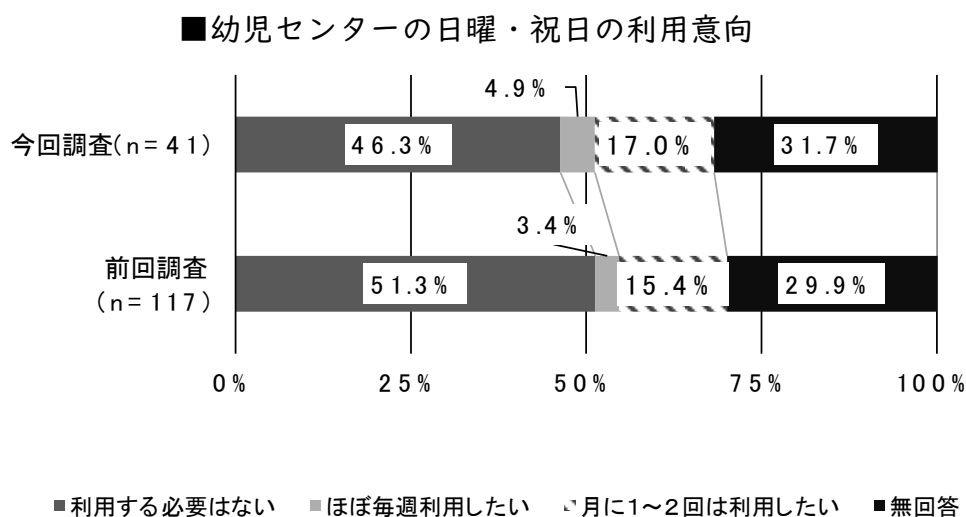
一方、「ほぼ毎週利用したい」と答えた割合が7.7%から9.8%に増加し、「月に1～2回は利用したい」という回答は23.9%から24.4%へとほぼ横ばいでした。



② 日曜・祝日の幼児センターの利用意向 (SA)

日曜・祝日に幼児センターを「利用する必要はない」と答えた割合が51.3%から46.3%へ5.0ポイント減少しています。

一方、「ほぼ毎週利用したい」という回答が3.4%から4.9%に増加し、「月に1～2回は利用したい」という回答も15.4%から17.0%へとわずかに増加しました。



③ 幼児センターに望むこと (MA)

幼児センターに望むこととして、「友だちとのびのびと遊ぶこと」を希望する家庭の割合が 70.7%で最も多く、次いで、「自然体験など多様な体験をすること」の割合が 48.8%となっています。

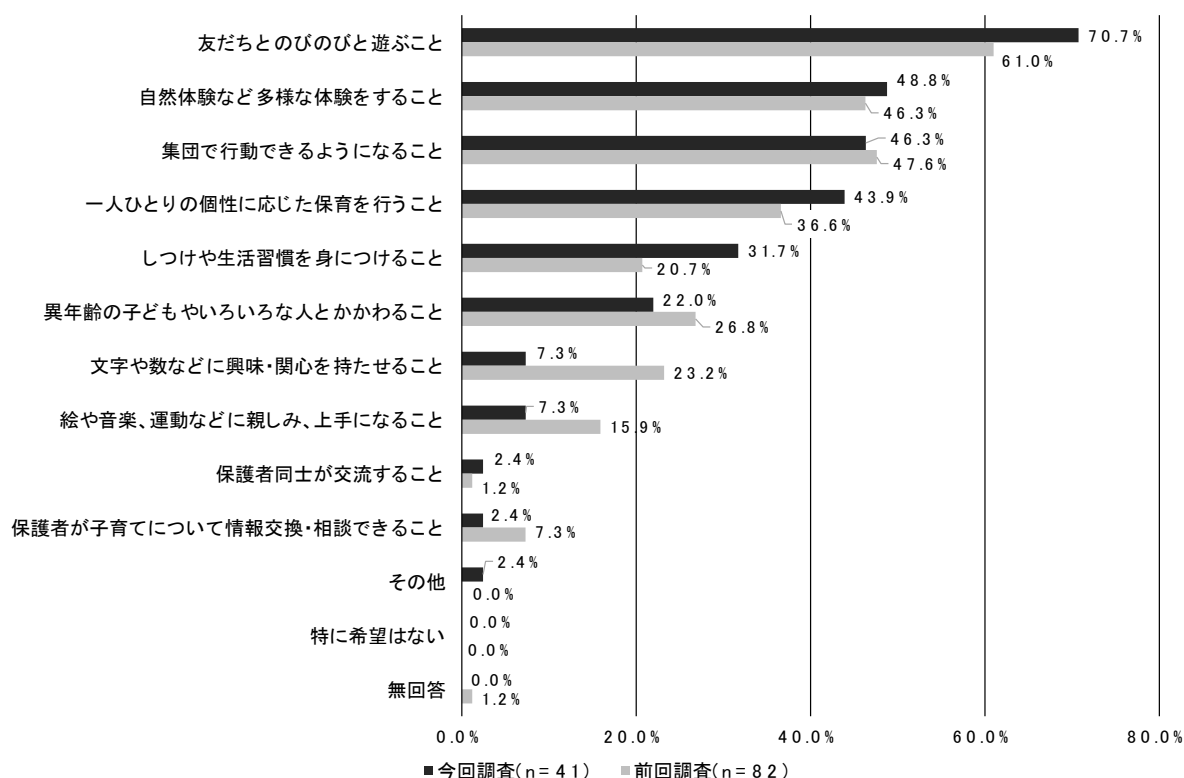
前回調査と比較して、「友だちとのびのびと遊ぶこと」の割合は 61.0%から 70.7%に 9.7 ポイント増加しており、子どもたちが自由に遊ぶ環境を重視している家庭が増えていることが分かります。

また、「しつけや生活習慣を身につけること」の割合も 20.7%から 31.7%に 11.0 ポイント増加しており、基本的な生活習慣の指導への期待が高まっています。

一方で、「文字や数などに興味・関心を持たせること」の割合は 23.2%から 7.3%へ 15.9 ポイント減少し、「絵や音楽、運動などに親しみ、上手になること」の割合は 15.9%から 7.3%へ 8.6 ポイント減少しています。

家庭が幼児センターに対して、遊びや生活習慣の形成を期待する傾向が強まっていると考えられます。

■ 幼児センターに望むこと



(ウ) 子育て環境について

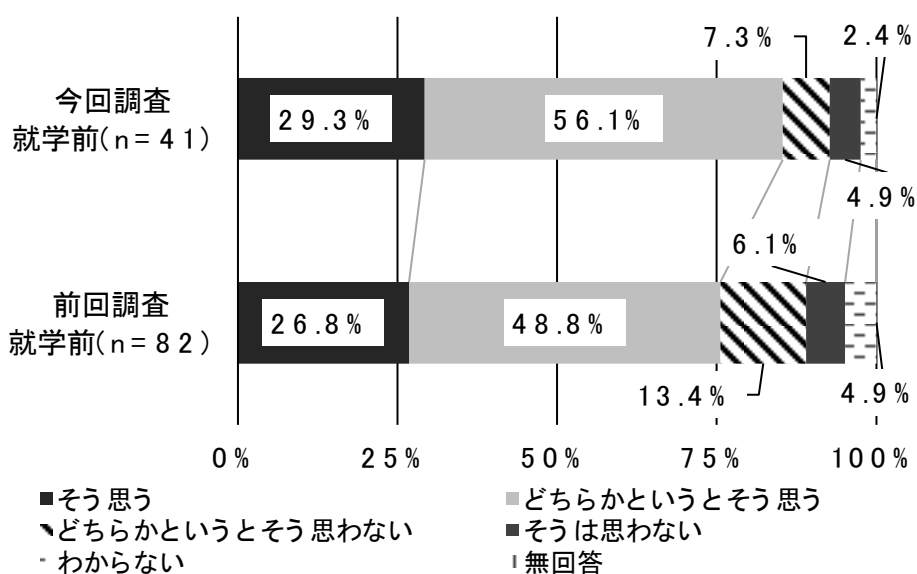
① 美深町は子育てをしやすいまちだと思うか (SA)

前回調査と比較して、「そう思う」の割合と「どちらかというと思う」の割合の合計は、75.6%から85.4%へ9.8ポイント増加しています。

一方、「どちらかというと思わない」の割合と「そうは思わない」の割合の合計は、19.5%から12.2%へ7.3ポイント減少しました。

美深町が子育てに適した環境であると考えている保護者が増加していることを示しています。

■美深町は子育てしやすいまちだと思うか



② 子育てしやすいまちづくりのために最も重要だと思うこと (MA)

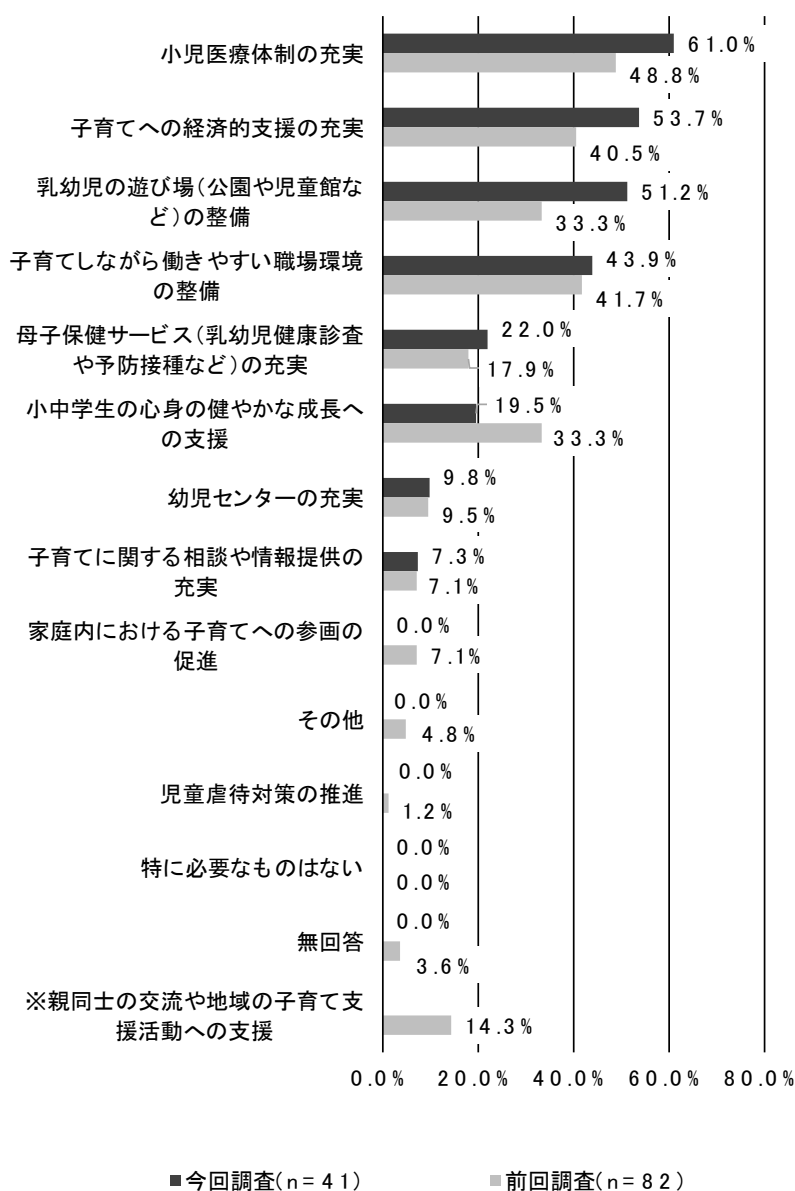
「小児医療体制の充実」の割合が61.0%で最も多く、次いで、「子育てへの経済的支援の充実」の割合が53.7%となっています。

前回調査と比較して、「小児医療体制の充実」の割合は12.2ポイント増加しています。

また、「子育てへの経済的支援の充実」の割合は40.5%から53.7%へ13.2ポイント増加しています。

就学前児童の保護者にとっては、医療体制・経済的支援が必要とされていることが分かります。

■子育てしやすいまちづくりのために最も重要だと思うこと



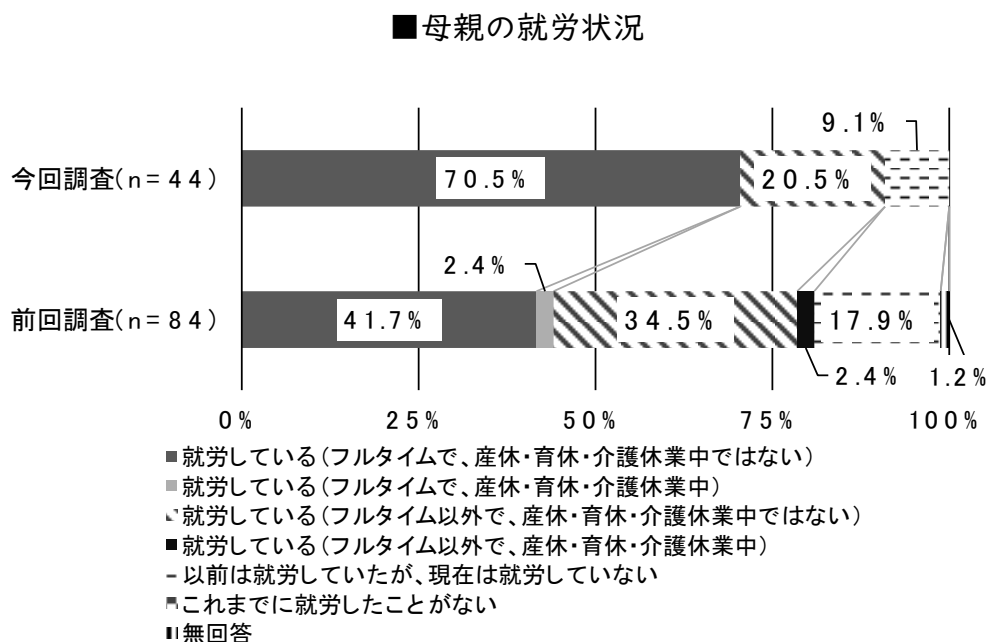
イ 小学生

(ア) 保護者の就労状況

① 母親の就労状況

今回の調査結果では、「フルタイムで就労している（産休・育休・介護休業中ではない）」母親の割合が 41.7%から 70.5%へ大幅に増加しています。

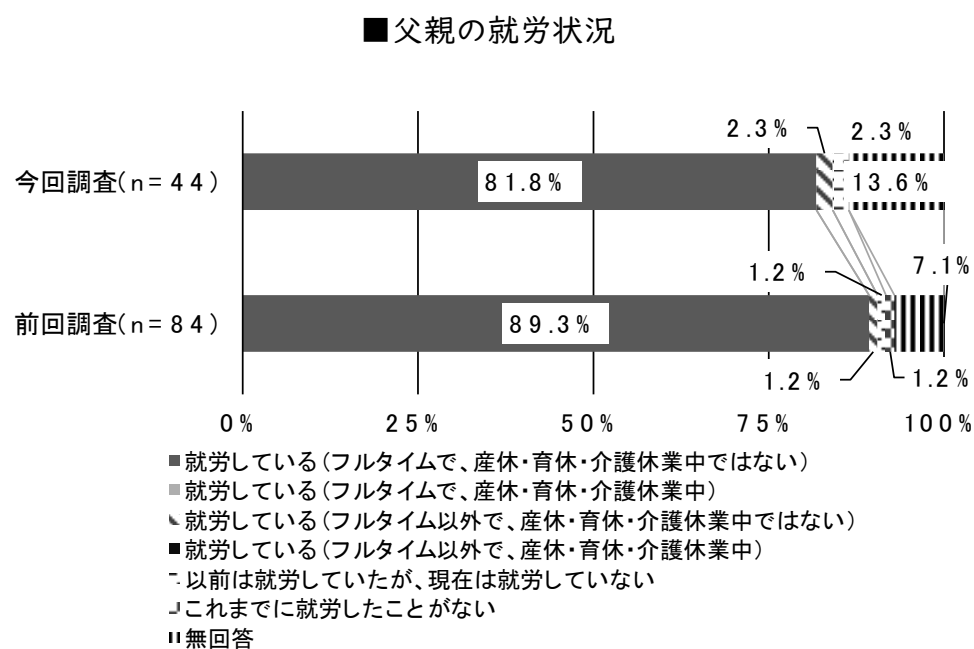
一方、「フルタイム以外で就労している」母親の割合は 34.5%から 20.5%へ減少しており、母親がフルタイムで働くことを選択する傾向が強まっていることが分かります。



② 父親の就労状況 (SA)

今回の調査結果では、「フルタイムで就労している（産休・育休・介護休業中ではない）」父親の割合が89.3%から81.8%へ減少しました。

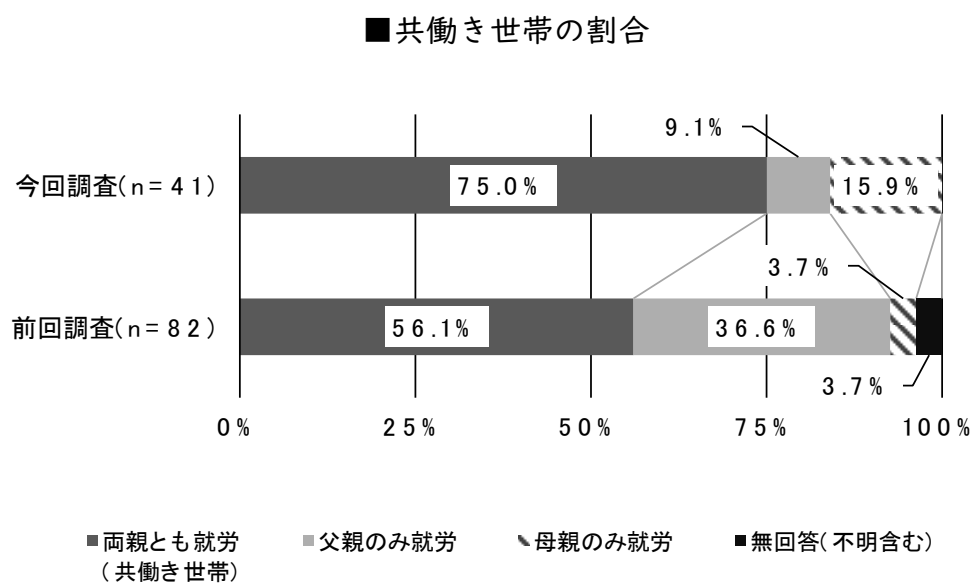
一方、「フルタイム以外で就労している」や「以前は就労していたが、現在は就労していない」という割合がそれぞれ1.2%から2.3%に増加しています。



③ 共働き世帯の状況（クロス集計）

「両親とも就労（共働き世帯）」の割合が 56.1%から 75.0%へ大幅に増加しており、共働きの割合が増加していることが分かります。

一方で、「父親のみ就労」の割合が 36.6%から 9.1%へ大幅に減少し、母親が就労を選択する家庭が増えていることを示しています。



(イ) 子育てに関する悩みについて

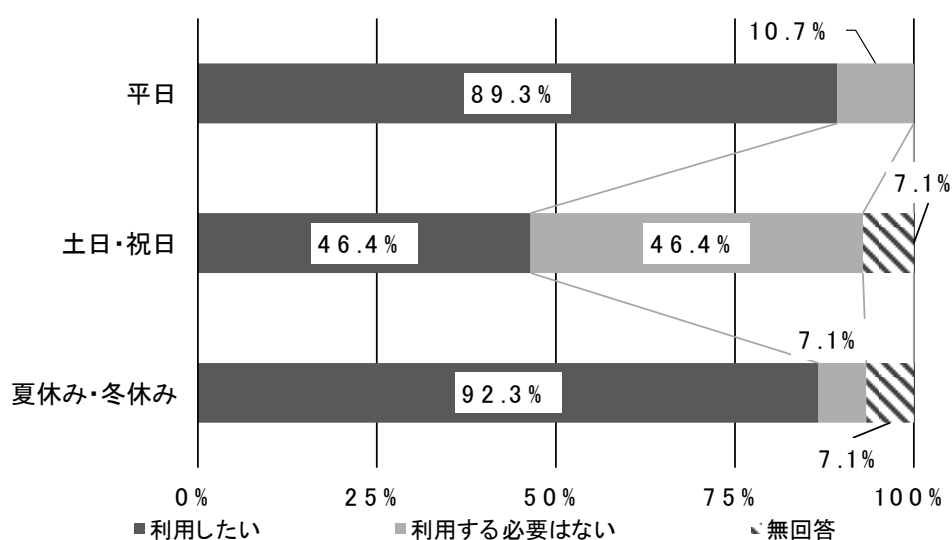
① 平日、土日・祝日の「放課後子ども教室」・「放課後児童クラブ」の利用希望 (SA)

今回の調査結果では、「放課後子ども教室」や「放課後児童クラブ」の利用希望において、「夏休み・冬休み」に利用したいと答えた割合が92.3%と非常に高いことが分かります。

同様に「平日」の利用希望も89.3%と高い割合を占めています。

一方で、「土日・祝日」に利用したいと答えた割合は46.4%と、平日の利用希望や長期休暇の利用希望に比べて低いことが分かります。

■ 「放課後子ども教室」または「放課後児童クラブ」の利用希望

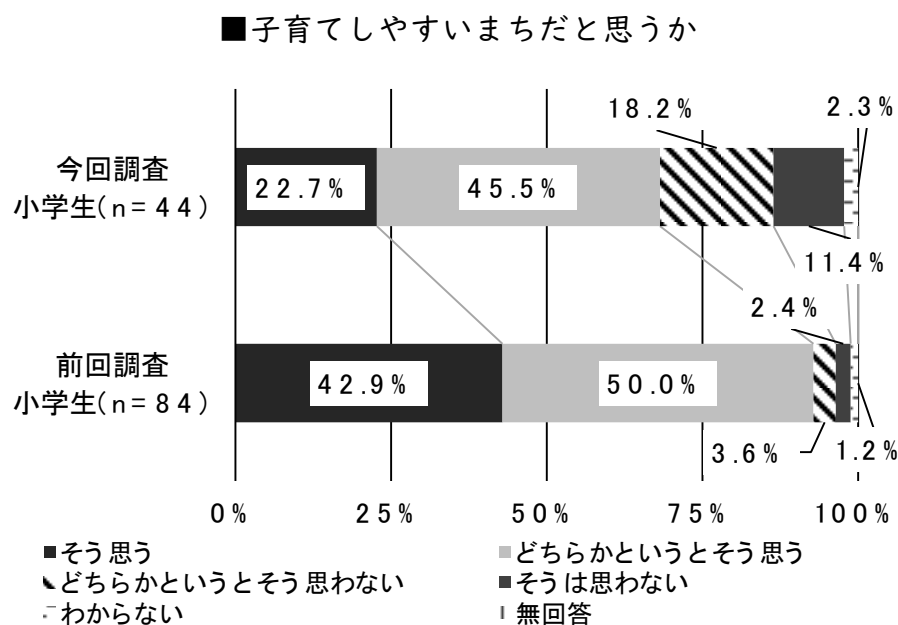


(ウ) 子育て環境について

① 美深町は子育てをしやすいまちだと思うか (SA)

前回調査と比較して、「そう思う」の割合と「どちらかというと思う」の割合の合計は、92.9%から68.2%へ24.7ポイント減少しています。

一方で、「どちらかというと思わない」の割合と「そうは思わない」の割合の合計は、6.0%から29.6%へ23.6%増加しており、美深町の子育て環境に対する保護者の満足度が低下していることが示されています。



② 子育てしやすいまちづくりのために最も重要だと思うこと (MA)

「小児医療体制の充実」の割合が56.8%で最も多く、次いで、「小中学生の心身の健やかな成長への支援」の割合が47.7%となっています。

前回調査と比較して、「小児医療体制の充実」の割合は50.0%から56.8%へ6.8ポイント増加しています。

また、「小中学生の心身の健やかな成長への支援」の割合は13.4%から47.7%へ34.3ポイント増加しています。

前回に引き続きこどもたちの医療体制を必要とする一方で、小中学生の健やかな成長を促進する体制が必要とされていることが分かります。

■子育てしやすいまちづくりのために重要だと思うこと

